

山本梅崖 （漢學者、政論家。嘉永五年閏二月十一日壬辰法國生れ、  
 昭和三年九月十六日歿）（八三—一九一八）。譯名、宇永磯、通稱繁太郎。別  
 號梅崖清士、梅崖處士、梅清處主人等。父は高知藩儒。明治二年藩費  
 致道館教授、西田茂の従軍。のち「大阪新報」記者、爾後「中國日日  
 新聞」、「越前自由新聞」等の自由民権論を執筆。十八年小林禮雄等  
 と大阪事件を起し、獄文を草した。有罪下獄のち大阪。

著書に「文法標解古文真寶註釋大全」全二冊（明治十七年二月大阪・青木  
 嵩山堂）、「蒙」文章軌範（卷之壹・明治二十五年九月二十一日中村  
 鍾美堂・學友館「漢文學獨習全書」）、「燕」山楚水紀遊」全二冊（明  
 治二十一年七月大阪・自刊）、「蒙」四書（再版・明治四十年七月十  
 日青木嵩山堂）、「梅」清處詠史（増田清校、昭和四年八月十五日大  
 阪・渡邊得次郎刊）、「論」語私見」全一冊（昭和十四年六月二十五日  
 大阪・松村末吉刊）等。

